

GLM-5.2 調査報告：知財実務における革新と活用ロードマップ

公開ステータスと提供形態 (2026年6月14日時点)



製品先行・研究未追随

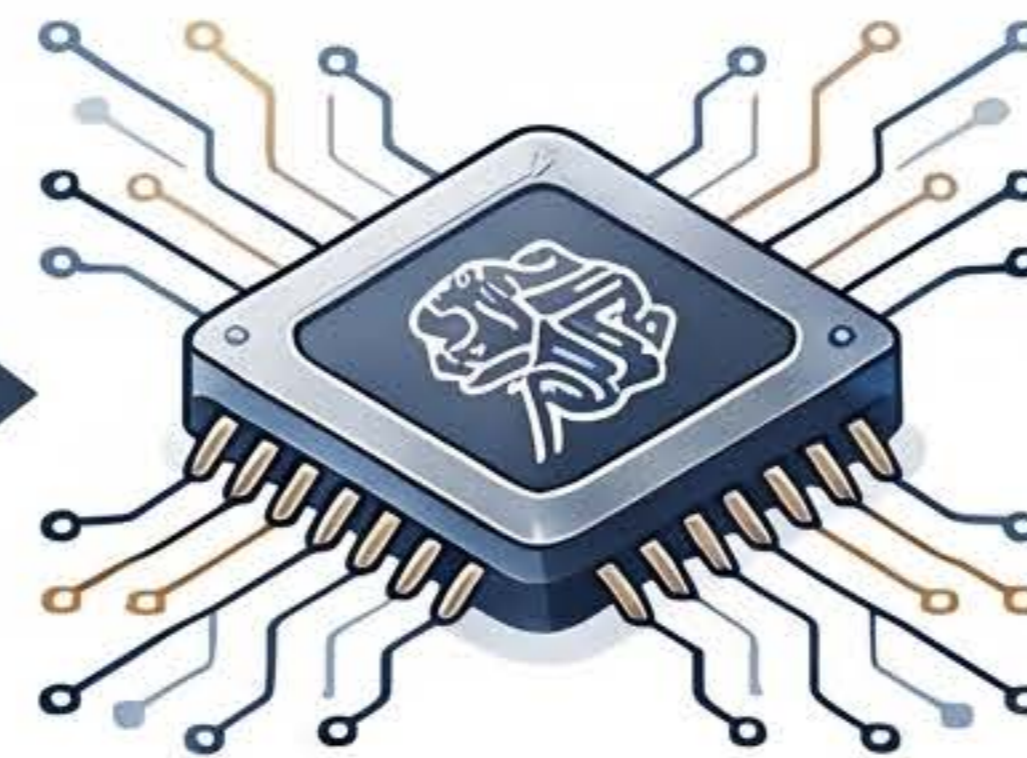
アーキテクチャ・安全性一次資料未公表。Coding Plan内公式ツール (Claude Code等) を通じて利用可能

コミュニティの期待感 (GLM-5系全体)



技術的ポテンシャル

GLM-5.2[1m] 一括処理



膨大な資料群を一括で処理可能。ツール側コンテキスト圧縮推奨。

Agentic Codingへの特化



最大8時間
長期自律タスク



思考強度切り替え
(High/Max)



外部コーディングエージェントツール公式対応

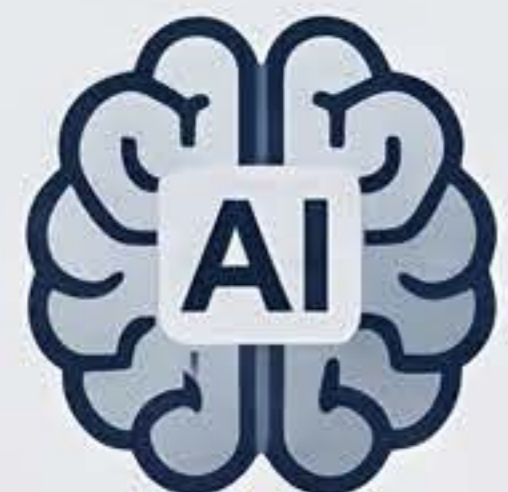


強固な学習基盤: 28.5Tトークン高品質Web/Codeコーパス + 1,000万件ソフトウェア工学特化データ



知財実務への適用設計とリスク管理

オーケストレーション層としての活用



オーケストレーション層としての活用



発明開示

特許ドラフティング・先行技術検索

- 請求項案・支持箇所表
- 多言語検索式

自動評価指標:
支持表カバー率
Recall@10/100

人手評価ゲート:
補正可能性判定
Top-K再査読



データルーム
大蔵文書

クレーム分析

- 権利関係・OSS汚染リスク「赤旗」
- 根拠文書ID・ページハッシュ管理

自動評価指標:
証拠スパンExact
Match@10/100

人手評価ゲート:
断定しすぎ監査
Redline採否決定



契約レビュー

- 条項抽出F1
- 当社ひな形との差分精度

自動評価指標:
証拠スパンMatch率
条項抽出F1

人手評価ゲート:
断定しすぎ監査
Redline採否決定



専門家
(弁理士/弁護士)
最終判断・サインオフ

導入リスクとガードレール



OSS版とAPI版の使い分け

- 機密: OSSローカル
- 非機密: API早期検証



安全性ドキュメントの欠知

- 独自に「不明」を許容する
プロンプト設計



プロベナンス (根拠) の徹底

- 引用スパンのない結論は無効
- 文書ID・成果物一体管理が必須